

令和 8 年 8 月 2 7 日

令和 8 年 9 月定例議会 記者発表 あいさつ

本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。
9 月議会の開催にあたり記者発表をさせていただきます。
私から最近の市政の状況についてお話をしたいと思っております。

まず、令和 8 年熊本地震の被災地への支援状況についてです。

災害が発生しました 7 月 2 8 日から緊急消防援助隊の岡山県大隊として、消防本部から 1 2 名を派遣し、八代市の日本製紙八代工場での瓦礫撤去作業などに従事いたしました。

また、八代市への支援物資として、8 月 5 日に職員 2 名が直接現地に赴き、水やラップポンという自動圧着式災害用トイレ、テント、ガスボンベを提供いたしました。

8 月 1 3 日からは八代市への給水応援活動として、8 月 2 6 日までに給水車と職員を交代で 6 名派遣しております。

さらに、避難所運営作業のため、職員を交代で 8 月 5 日から 1 1 日まで、また 2 5 日から 3 1 日まで 2 名派遣しております。

いまだ避難所には多くの方が避難されているとお聞きしておりますので、国・県と連携しながら、市としてできる対応は可能な限りしていく方針で臨んでまいります。

続きまして、新庁舎の竣工式・内覧会についてです。

8 月 2 9 日（土）午前中に竣工式を行う予定にしております。

また、午後からは市民を対象にした内覧会を予定をしております。

新庁舎の業務開始は 9 月 2 4 日から予定しており、それまでに移転業務を完了させる予定です。

新庁舎においては、災害時一時避難場所にもなる屋外デッキがあり、免震構造を採用していることから、災害時の本部機能を有することとなっております。

通常の窓口業務についても、デジタルトランスフォーメーションを導入して、書かない窓口を行う予定にしております。

また、お子様連れで来られる方のためのキッズエリアを設けたり、バリアフリートイレを各階に設けたりと、市民の皆様が安全で便利で使いやす

い庁舎にしていまいります。

次に、こども議会についてです。

去る8月21日、市内の7中学校からそれぞれ中学生が参加し、こども議会が開催されました。

中学生の皆様から、「若者に優しいまちづくり」、「観光戦略」、「災害に強いまちづくり」、さらにはトイレやエアコンなど「学校環境の整備」といった当事者ならではの御意見をいただきました。

こうした若者の意見は非常に貴重だと思っており、しっかり受け止めて、市としても前向きな検討を進めていきたいと思っております。

今後も若者の意見を反映する場、意見交換する場はできるだけ作ってきたいと思っております。

次に、総合計画の策定についてです。

現行の総合計画が今年度までになっており、来年度からの4年間の新しい総合計画の策定作業を現在進めているところです。

策定に当たって、様々な市民の皆様の声を聞くため、「たまの未来会議」を開催いたしました。市内在住、在勤の20代、30代の若者に集ってもらい、市が取り組むべき施策について、色々な形で御意見をいただいたところです。

若い人たちが、希望を持って住み続けられるまちにするために、色々な若者世代の意見を聞くことは非常に大切だと思っております。特に、子育て世代の負担軽減、交通アクセスの改善、スポーツや健康増進に力を入れてほしいなど、色々な御意見が出ました。

こういった御意見を受け止めながら、計画にも反映していきたいと思っております。

また、各地域において開催している地域懇談会については、予定している10か所のうち、昨日までで8か所が完了いたしました。全体で100人を超える市民の皆様が参加され、地域の課題や玉野市の未来・将来について、公共交通の課題、買い物が不便になったなど様々なご意見をいただいております。これらもしっかりと計画に反映していきたいと思っております。

その他にも、高校生との意見交換会を8月4日に開催しました。5月、6月には市民アンケートという形で、市民の皆様からもご意見を頂戴しております。

次の４年間に向けて良い総合計画を作っていきたいと思っております。

議案に関係するところで、１０月２３日、２４日に開催を予定しております音楽フェス「Setouchi Contemporary」については、地域の観光振興に資するイベントということで、企業版ふるさと納税を活用した協賛金の交付を今回の予算に計上させていただいております。

こうしたイベントが玉野での賑わいづくり、そして玉野を知っていただくということに非常に大きな効果が見込めるため、できる限りの支援をしていこうというものです。

私からは以上です。